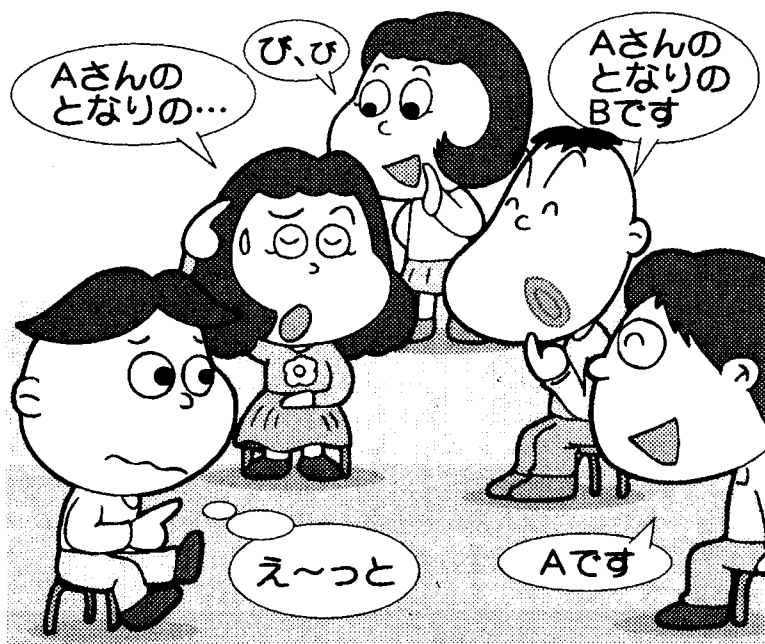


あそびのレシピ



遊びながら「自他」紹介

積み木紹介

春は新しい出会いの季節ではないでしょうか。いろいろな人との新しい出会いに心が弾みますが、一方で意外と簡単に名前が覚えられ、人の名前をなかなか覚えられないといった人も多いの

ながら自己紹介をしていけば、その後の会話も弾むでしょう。名前を覚えるのが苦手、と思い込んではいけません。この遊びを通じて、「この春から「名前を覚えるのが得意」と、胸を張って言えるようになる」といいですね。

|| おわり

- 【人数】 20--40人
【場所】 全員が丸く座れる程度のスペース
【道具】 なし
【遊び方】 ①全員の顔が見えるように輪になって座る（いすに座ってもOK）。後方にはリーダーが通れるくらいのすき間をとっておく。
②ルールは順番に一人ずつ自己紹介をするだけ。
③各自、積み木を一つ一つ重ねていくように、自分の名前を言う前に、その前に自己紹介した人の名前をもれなく言う。「Aです」「Aさんの隣のBです」「Aさんの隣のBさんの隣のCです」…というように。
③順番が後になればなるほど難しく悲鳴が出る。
④3-4人したらルールを変更。名前の前に生年月日を加えたり、好きな食べ物、行ってみたい場所、呼ばれたい名前などを加えていく。
⑤慣れてくると、10人を超す人の名前を言えるようになる。
⑥リーダーは輪の外側を一緒に回る。その際、プロンプター（黒衣）のように小さな声で頭文字などヒントを与えてあげよう。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092（882）0363